

つながれ ひろがれー

Vol. 6 7

編 集 環境パートナーシップちば 代表加藤賢三 事务局 千葉市中央区中央港1-11-1 (財)千葉県環境財団環境技術部 環境活動推進升人

電 話 043 - 246-2180 FAX 043 - 246-6969

平成21年度定期総会開催

5月10日(日)、10時から千葉市文化センター 会議室3にて、「環境パートナーシップちば」の平 成 21 年度(第13回)定期総会が、来賓の方も含め 24 名の参加のもと開催されました。

【第一部】総会

荒尾繁志氏の司会で始まり、代表の加藤賢三氏か ら挨拶の後、千葉県環境生活部環境政策課 名川哲 氏、(財)千葉県環境財団環境管理グループ 山口幸 一氏からご挨拶いただきました。 さらに当会のアド バイザーでもある市原市長 佐久間隆義氏からショ ートスピーチがありました。

その後、議長に牧内弘明氏、書記に小関伸夫氏が 選出され、議題に入りました。平成20年度事業報 告が加藤賢三氏、会計報告が日比野博氏、会計監査 報告が小関光二氏から報告がありました。

事業報告は規約の活動に沿っての報告となりま した。ホームページには、「だより」創刊号以降全 バックナンバーの内容や「エコサロン」の全会合報 告を掲載するなど、当会の活動の歴史を知る上で貴 重なコンテンツを充実させることができました。ま た、「エコメッセ 2008 in ちば」 実行委員長・事務 局をつとめ、長年の功績が認められ、「文化の日 千 葉県功労者表彰」を団体として受賞しました。また、 「NPO 及び業者による環境学習地域教材作成事 業」を実施するなど市民・行政・企業及び専門家と のパートナーシップ活動を実践しました。さらに、 「ESD フォーラム in ちば」を主催するなど、各地 域でのシンポジウム、フォーラムなどを主催・支援 しました。なお、3月31日現在、個人会員は89 名、団体会員は28団体でした。

会計報告では、収入合計 1,955 千円、支出合計 は 1,889 千円で、その差額 66 千円が翌年度繰越 となりました。

会計監査報告も含め、それぞれの報告は出席者全 員の拍手で承認されました。

次に、役員改選、平成 21 年度事業計画(案) 予算(案)の審議に入りました。役員改選では、副代 表に石川好隆氏、事業部長に荒尾繁志氏、同副部長 に牧内弘明氏、広報部副部長に吉田陞氏が新たな運 営委員として加わり新体制でスタートすることが 承認されました。平成21年度事業計画案が加藤賢

三氏、予算案が橋本公江氏より説明がなされました。 事業計画では「エコメッセ 2009 in ちば」や「環 境シンポジウム 2009 千葉会議」の実行委員長を 務めたり、県と NPO 協働事業「環境学習コーディ ネーター人材育成・活用検討事業」を実施するなど、 引き続き市民・行政・企業及び専門家とのパートナ ーシップ活動を実践します。そのほか、具体的な活 動計画は本号 p.5 をご覧ください。

予算面では収入、支出合計共に 1,846 千円を計 上しております。

事業計画案、予算案いずれも参加者全員の拍手で 承認されました。

総会の最後に新副代表 石川好隆氏から閉会挨拶 があり、閉会しました。



【第二部】団体交流会

第二部も、荒尾氏の進行で進められました。まず 「ストップ地球温暖化千葉推進会議 」内野英哲氏、 次に「せっけんの街」 山部佳子氏、さらに当会の ご意見番でもある「ゴミゼロ社会をめざす会」 深 尾秀次氏に所属されている団体活動の簡単なご紹 介かたがたスピーチをしていただきました。

その後、NPO 法人「千葉自然学校」事務局長 遠 藤陽子氏には詳しく団体の紹介をしていただきま した(本号 p.4 参照)。

最後に前副代表 高橋晴雄氏、前会計 日比野博氏、 新入会の星野光氏、東京都江戸川区の籾山正行氏、 前事業部長 若月聡氏、会計監査 小関光二氏よりそ れぞれ簡単なコメントをいただき、団体交流会を終 えました。

環境パートナーシップちば総会挨拶



千葉県環境政策課の名川と申します。

「環境パートナーシップちば」の総会にお招き いただきありがとうございます。本来であれば、 当課の課長梅木が出席し、ご挨拶申し上げるとこ ろですが、本日は、私が代理で出席させていただ きました。僭越ながら、私から一言ご挨拶申し上 げます。

環境パートナーシップちばの会員の皆様にお かれましては、市民団体、企業、行政等、多様な 主体をつなぎ、パートナーシップによる環境づく りを目指して、環境学習活動をはじめ、地域の環 境保全に関わる活動、地球温暖化防止の取組など、 本県の環境行政の推進にご協力をいただき、深く 感謝申し上げます。

昨年度は、環境学習ネットワーク会議において 実施計画案策定に参画いただくとともに、地域教 材作成事業や環境学習コーディネーター人材育 成・活用検討事業などに取り組んでいただきまし た。

また、エコメッセ 2008 in ちば、環境シンポ ジウム 2008 千葉会議の開催に中心的な役割を 果たされ、エコメッセでは、約9,000人の参加

千葉県環境生活部環境政策課 名川 哲哉 氏

を得ることができました。

さらに、地球温暖化防止の取り組みでは、昨年 度、県の「地球温暖化防止と生物多様性保全」推 進きゃらばん隊による普及啓発活動において、積 極的にご協力をいただき、68,000人を超える県 民の参加を得ることができました。

本年度は、地球温暖化防止の普及啓発活動を 「CO2CO2 ダイエットファミリーキャンペー ン」として継続してまいります。引き続き参加を お願い申し上げます。

また、環境学習の面では、地域教材作成事業や 環境学習コーディネーター人材育成・活用検討事 業を継続するとともに、一般の県民を対象とした 「県民環境講座」については、より地域との連携 を図る趣旨から、市町村と連携し、「公募型」に より実施してまいりたいと考えております。詳細 は、今後つめてまいりますが、実施案が出来次第、 皆様にもご連絡を差し上げますので、引き続きご 協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、環境パートナーシップちば さんは、環境全般にわたる長年の功績が評価され まして、昨年度文化の日千葉県功労者表彰を受賞 されました。誠におめでとうございます。

皆様方の更なる発展、ご活躍が、千葉県の持続 可能な社会の実現に大きく寄与していくものと 確信する次第です。

今後とも皆様方のご活躍を祈念し、私からのあ いさつとさせていただきます。本日は、お招きい ただきありがとうございました。

(財)千葉県環境財団環境管理グループ 山口 幸一 氏

ただいまご紹介に預かりました、千葉県環境財 団の山口です。本日は総会にお招きいただきまし て誠にありがとうございます。また、今年で 12 年目の節目を迎えて、ますますのご発展をお喜び 申し上げます。

環境パートナーシップちば様は、「環境シンポ ジウム '95 千葉会議」をきっかけに 1997 年に 設立し、以来、環境財団に住所を置き、当団体と は深い関係にあります。

さて、近年環境問題を考え、行動するに当たり、 皆様のような団体との協働が重要で欠かせない ものであることが徐々に認識されつつあります。 環境パートナーシップちば様におかれましては、 基本的に緩やかで、それでいて強いつながりで結 びついた全国でも大変珍しい団体ではないでし ょうか。



当初はこの緩やかなつながりが一般の方に理 解できなく、財団に問い合わせが来ても説明に 窮することも多々ありました。環境パートナー シップちば様が実行委員長として参加しており ます「エコメッセ 2009in ちば」も近年企業の 参加が大変増えており、財団への問い合わせも 多く、「事務局はどこですか? 組織はどうなっ ているのですか?」などの質問に対し、「財団は 郵便・FAX の窓口であり、企業、団体や個人に 分散しており、それぞれの個々の役割を担って 日々活動しております」と説明してもなかなか 理解してもらえません。例えば船と岸壁をつな

ぐ「もやいづな」のように、緩やかにつながら なければ、波の揺れで船は岸壁にぶつかるか綱 が切れてしまいます。今後ますます皆様方がご 活躍することにより、このような硬く統率され た組織ではなく、緩やかで柔軟性のある強いつ ながりが理解されるのではないかと思っており ます。

昨年 11 月に環境省から「平成 19 年度公共用 水水域水質測定結果」が発表され、残念ながら印 旛沼が湖沼ワースト 1 位となってしまいました。 環境パートナーシップちば様におかれましては 「印旛沼をきれいにする活動」など、多くの印旛 沼浄化のためにご活躍されており、今後ますます 環境パートナーシップちば様や会員の皆様方の 活動が重要となってきていると思います。

当財団でも、今年度も環境学習や温暖化防止活 動など、多くの事業を展開していきますので、ご 理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に環境パートナーシップちばの皆様のご 発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、 簡単ですが挨拶とさせていただきます。

環境パートナーシップちば代表 加藤 賢三

本日は13回目の総会へ多くの皆様にお集まり いただき、誠にありがとうございます。

私たちはここ十数年間、環境問題のパートナー シップ実践の輪を広げてまいりました。昨年度は 過去を振り返って活動の歩みを作りましたので ご覧いただきたいと存じます。

1997年の創立以来、初期の 4~5年までは県 の予算もついて、環境パートナーシップ推進事業 ということでやってまいりましたが、それ以降は 自立した環境のネットワークを目指しました。自 立というのは言うは易しでなかなか難しいもの です。当時は比較的大勢のメンバーがおり、パー トナーシップで集められる情報は量的にもかな りありました。しかし、今は行政やほかの情報を 我々が知るよりかなり早い段階にホームページ で得ることができますので、このようなネットワ ークが今後どのような方向に進むべきかという 問題は、ちょうど変換期に来ていると思います。

私たちが 10 年を振り返って、これから環境保 全を推進していくために、私たちパートナーシッ プがやってきたやり方を「経験」という形で広め ていければと思っておりますので、今後もよろし くお願い申し上げます。



本日は、県環境政策課から名川様と県環境財団 から山口様に来賓としてお越しいただいており、 さらに環境パートナーシップちばの早くからの メンバーでいらっしゃいます市原市長の佐久間 様もおいで下さっております。後ほどご挨拶をお 願い申し上げます。

7年目を迎えた千葉自然学校

特定非営利活動法人千葉自然学校 事務局長 遠藤 陽子



「面白そう」と首を突っ込んだのが運のつき、 気がついたらとっぷりと首までつかり、毎日出か けて仕事をしている私がいます。

ここまで入れ込むのはなぜなのかと自分に問 いかけながら・・・・。

・千葉自然学校とは

平成15年5月に設立した千葉自然学校の目指 すところは、子どもも大人ももっと自然の中で、 いきいきとした感性を養ってほしい、それには地 域の人たちが先生になって自然のこと、農林漁業 のこと、暮らしのことを伝えてもらおう、都市か ら子どもや家族が訪れることによって地域が元 気になり、活性化や環境保全を図ろうというもの です。

千葉自然学校の特徴はネットワーク型です。 海 辺の鑑定団や大山千枚田保存会など体験事業者 の皆さんとネットワークを組み、プログラムの充 実や指導のレベルアップをして、県内の体験活動 の充実を図ろうと現在53団体が会員となって活 動しています。



・取り組んでいること

事業は大きく3本の柱立てになっています。1 本目は「岬の楽校」や「森の隠れ家づくり」など の子どもや家族を対象にした事業です。昨年度か ら(株)千葉薬品が30年にわたって運営されて きたヤックス自然学校も受託し年間70を超える プログラムを実施しています。これには千葉大生

もボランティアでかかわってもらっています。2 本目は自然学校の趣旨に合った事業を国・県や企 業に提案し採択されて実施しています。昨年度は、 南房総では市民活動をしている60団体の皆さん と市民活動フェスタを開催しました。大変でした が皆さんからまた今年もやろうと声が上がって います。地域の課題を取り上げて実施することに より地域に役立つ活動になると予感しています。 また、山村再生事業で富津市役所さんと組んで廃 校となった環南小学校を拠点に地域の方々が先 生になって進める教育ファームづくりに取り組 んでいます。地域の方々がその気になり始めて、 この夏には子どもたちを受け入れてみようと準 備を始めています。そして、3本目は大房岬や君 津亀山少年自然の家などを指定管理者として管 理運営することです。特に大房岬少年自然の家は 南房総市から管理運営費なしで受託し、現在自立 した運営を目指しています。そのために職員・ア ルバイトの皆さん大変な努力をしていますがこ れが実現できたら素晴らしいことです。



・実現させたいこと

現在職員は 24 名、アルバイト等を加えると 35 名ぐらいになりました。自然体験を仕事とし てやりたいという若い人たちが集まって頑張っ ています。この人たちが、活動し続け、結婚し子 育てもできる仕組みづくりをしてゆきたいと願 って活動しています。

夢を持った若者と持ち続けてきた夢を実現さ せたい高齢者が、上手に組んでしっかりと県土に 根を張った千葉自然学校に育てたいと願ってい ます。

~~平成 21 年度活動計画~~

- 1.情報の収集と提供及び情報誌の発行
 - (1)環境パートナーシップちば ホームページ (http://kanpachiba.com/) 維持管理
 - (2)環境パートナーシップちば 「だより」発行・配布(第67号~第72号)
- 2.市民・行政・企業及び専門家とのパートナーシップ実践活動
 - (1)「エコメッセ 2009 in ちば」 実行委員長・事務局担当
 - (2)「環境シンポジウム 2009 千葉会議」 実行委員長・運営委員長担当
 - (3)県と NPO 協働事業「環境学習コーディネーター人材育成・活用検討事業」実施
 - (4)エコマインド養成講座インターン受け入れ
 - (5)環境教育の講師派遣
 - (6)環境保全に関する活動・会議等に参画
 - (7)企業連携活動
- 3. 各地域でのシンポジウム、フォーラムなどの開催と支援活動
 - (1)「ESD フォーラム in ちば」開催
 - (2)「印旛沼をきれいにする活動」
 - (3)協賛・参加予定イベント
 - ・「第5回 里山フェスティバル"里山シンポジウム"」 実行委員会参加
 - ・「2009 ちばし手づくり環境博覧会」実行委員会参加と出展
 - ・「第12回 ふなばし環境フェア」実行委員会参加と出展
 - ・「エコフェアいちはら」実行委員会と出展
- 4.環境パートナーシップ・エコサロン開催
- 5.環境活動諸問題の相談窓口
 - (1)地域活動 (千葉·船橋·松戸·八千代)
 - (2)県・市等の審議会・委員会

新役員紹介

代 表:加藤 賢三 広報部長:小関 伸夫 副代表:石川 好隆 副部長:吉田 陞 事務局長:桑波田 和子 スタッフ:平山 明彦 書 記:(事務局長兼任) 会計監查:大西 優子 会 計:橋本 公江 会計監查:小関 光二

会 計:(代表預かり) アドバイザー: 佐久間 隆義、鈴木 優子、 事業部長: 荒尾 繁志 永島 輝代、横山 清美、 大西 優子、深尾 秀次、 副部長:牧内 弘明

スタッフ:若月 聡

副代表 石川 好隆(松戸市在住)

私にとって副代表を拝命する事は荷が重いのですが、なんとかチームワーク良く、新し いスタイルの環パちばを目指して微力を尽くしたいと思います。

事業部副部長:牧内 弘明(千葉市 美浜区在住)

今年3月に入会した新人で、未だ霞の中にいる感がありますが、これから会は、既存路 線の活性化に努めると同時に、会の目的や目標などの基本部分の見直しにも着手すべきだ と感じます。

広報部副部長:吉田 陞(千葉市 美浜区在住)

この度、環パちば役員の末席に就き運営に携わることになりました。入会歴も浅く職務 を全うできるか不安もありますが、誠心誠意で全力を尽くし活動していきたいと思います。

地域教材報告会実施

千葉県環境政策課からの委託により本会が作 成した環境学習のための教材*のお披露目と、こ の活用策を検討する会が、本会の主催で平成 21 年3月28日に「きぼーる」で行われました。

> *「ちば環境学習 "水"ハンドブック ~ 印旛沼・三番瀬~」2009年3月

会は以下のプログラムによって行われた。

基調講演:「環境保全活動で、環境教育を!」 講師:千葉県環境研究センター 小川かほる氏 他の委託事業の紹介

千葉県環境政策課から環境カウンセラー千葉 県協議会に同時発注された、環境学習の教材づく りと出前講座の紹介

講師:同協議会 種本利治氏

車座トーク

前記教材の活用法等について議論

参加者は、千葉県環境政策課、千葉県水質保全 課、環境カウンセラー千葉県協議会、市民団体(里 山の会、NPO いんば、ちば生物多様性県民会議、 ちば環境学習ネットワーク会議、環境パートナー シップちば等)に所属する14名でした。

基調講演について

私は、前期高齢者になりたての都市住民で、ま たこれまでの会社員という職業柄、NPOや環境 学習の経験は乏しく、このレポートのため初めて 国や千葉県の施策を眺めた程度で、このレポート 役としては不適格かもしれません。しかし、これ からの環境活動の現場では、このような環境教育 には素人の参加者が増えるであろうから、その素 人の発想などを披露することも多少の意味があ るかもしれないと思い筆をとりました。

小川講師は、県の施策をもとに「環境保全活動 で環境教育を」との提唱をされました。その意は、 これまでの体験型の環境保全活動では、"単なる 体験"で終わりがちだが、これを"良い体験"に、 更に環境教育にまで高めることが必要で、それを 実現するためには、地域の環境保全活動団体が、

地域の課題・資源を活用した環境教育プログラ ムを作る、 環境教育の"仕掛け人"としての力 改善のための評価(内部評価)を行 を蓄える、 外部評価を利用する、のプロセスが不可欠 とのご意見でした。

このプロセスは、私が持つ知識から類推してま さに環境保全活動のPDCAサイクル(plan do check action)だと思いました。また、 この手法は普遍的なものだから多くの人が納得 しやすいものですが、問題はこの運用や具体化に あると感じました。運用や具体化に際し、環境教 育の対象をどこまで含めるかの問題が大きいと

思います。今の施策は対象をおおむね自然環境に 限定している感がありますが、環境教育の現場で は、地域の環境を自然環境のみならず社会、経済、 歴史、文化、人間、コミュニティなどを含む総体 の環境として捕えることが望ましく、この環境を 読み解きその知識を共有するところから活動を 始めなければならないと思います。そのためには、 実践の積み重ねこそが先決ではないかと感じま した。



「ちば環境学習 " 水 " ハンドブック ~ EO 旛沼・三番瀬~」の概要

本書の構成は、 環境保全活動で環境教育!、 千葉県の水の課題(印旛沼、三番瀬) 印旛沼 と三番瀬で活動している団体の環境学習プログ ラムの紹介、 環境活動団体一覧表などで、59 ページの厚さです。

なお、このハンドブックについてのお問合せは 当会(環境パートナーシップちば)までお寄せくだ さい。

車座トークについて

最初に発注担当者から当企画の意図を説明し ていただき、続いて、この教材の活用法について 意見交換をしましたが、私流には次のようにまと めました。

情報氾濫時代に本書を死蔵されないために、次 段階として、 広範囲な周知やPR法として行政 や団体のHPへの掲載の可能性検討, 更に内容 を深めた続編の発行、 教材を生きものとするた め、人材の育成を並行する、 収集された団体の データベースを団体間のコミュニケーション・ツ ールとして活用する、などが必要。

教材も含め環境保全活動と学校教育との連携 が期待されるが、両者間のレールは必ずしも円滑 でないのが実情で、今後時間をかけた努力が必要 です。 (文責 環パちば 牧内弘明)

環境学習コーディネーター人材育成・活用検討事業について

平成 21 年度 県と NPO との協働事業に、県 から「環境学習コーディネーター人材育成・活用 検討事業」の提案が出され、「環境パートナーシ ップちば、「NPO法人千葉自然学校、「GO NET」の3団体が協同で応募申請し、審査の結 果委託することになりました。

ここに概要をお知らせします。

1. 趣旨

平成19年に策定された新しい千葉県環境学習 基本方針の中で、環境学習をより推進するために は、「学ぶ人」と「学びを支援する人」をつなぐ 「環境学習コーディネーター」の存在が重要であ り、早急に取り組むべき課題であると明記されて います。

この事業では、環境学習コーディネーターの役 割を明確にして、人材育成・活用についての事業 を検討します。併せてコーディネートに必要な情 報を 収集し、「環境学習コーディネーター必携 ハンドブック」を作成します。

2. 実施団体

県(環境政策課、環境研究センター、(教)指導 課入「環境パートナーシップちば」、「NPO法 人千葉自然学校」「GONET」

3. 事業の委託内容

(1) 県内の市民団体、企業、学校、行政を対象 とした環境学習コーディネーターに関する

アンケート調査

- (2) ワークショップ形式による、コーディネー ターの役割の明確化とそれを担うのに必要 な能力を養成するための講座のあり方の検
- (3) 各団体のネットワークを生かした、ワーク ショップ参加者の依頼
- (4)(2)の結果をもとにした「環境学習コーディ ネーター必携ハンドブック」の作成
- (5)(2)の結果をフィードバックした環境学習 コーディネーター育成講座の企画を中心と した本事業への企画書の提出(県へ)
- (6) 環境学習コーディネーターネットワークの

4. ワークショップについて

コーディネーター育成のモデル事業とし てのワークショップを 4 回開催し、事業の最 後に報告会を開催します。参加者は、ワーク ショップで意見を出し合いながら講座を作り 上げていく企画者です。1年間実施するワー クショップの結果がフィードバックされ、今 後「環境学習コーディネーター育成講座(仮 称)」の実施案として県に提案します。

3 月運営委員会

日時:21年3月23日(月) 場所:船橋市民活動センター 協議: 地域教材報告会

だより66号

環パだよりタイトル版(1号~64号)

及びリーフレット完成

会費未納

21 年度総会(5 月 10 日)開催準備 環境パートナーシップちばの総会に

向けて

4 月運営委員会

日時:21年4月13日(月) 場所:船橋市民活動センター

ちばし手づくり環境博覧会出展参加 協議:

いちはらエコフェアー出展参加

船橋環境フェアー

だより67号内容について

総会準備

4 月臨時運営委員会

日時:21年4月27日(月) 場所:船橋市民活動センター

協議: だより67号内容について

総会開催準備

5 月臨時運営委員会

日時:21年5月4日(月) 場所:船橋市民活動センター 6月エコサロンについて 協議:

総会開催準備

お知らせ

《6 月は環境月間です!!》

2009 ちばし環境フェスティバル

日時:6月5日(金)13:30~16:00

会場:京葉銀行文化プラザ

3 階音楽ホール

問合せ: 2009 ちばし環境

フェスティバル事務局

Tel: 043-241-3023

2009 ちばし手づくり環境博覧会

日時:6月6日(土)

活動パネル展示 11:00~17:00

6月7日(日)

活動パネル展示 10:00~15:00

会場:きぼーる 1階 アトリウム

入場:無料 主催:千葉市等

連絡・問合せ先:2009 ちばし手づく

り環境博覧会実行委員会事務局

Tel. 043-245-5199

Fax 043-245-5553

E-mail eco.chibacity@gmail.com

プログ: http://sabatobi.com/kanfes

第 12 回ふなばし環境フェア

テーマ: みんなで取り組むエコ活動 日時:6月6日(土)10:00~16:00

会場:船橋市中央公民館

入場:無料

主催:船橋市環境フェア実行委員会

エコフェアいちはら

日時:6月27日(土)10:00~15:00

会場:市原市民会館(屋内出展)及び

市役所駐車場(屋外出展)

テーマ「いちはらエコ大作戦」で未来は変 わる ~ みんなで参加して美しいい

ちはらまちづくり~

問合せ:エコフェアいちはら実行委員

事務局

Tel: 0436-23-9867

【松戸市環境月間行事】

1. マイバッグ自作教室

開催日:6月10日(水) 会場:松戸市市民センター

内容: 不要な傘の布部分を利用しエコバッ

グを作成する

主催: 松戸市環境計画課減 CO2 担当室、

アースコン・マツド

2. 省エネ実践教室

開催日:6月22日(月) 会場: ちば野菊の里浄水場

内容: 市民に出来る地球温暖化対策の効果

を学び、実践につながるようレクチ

ャーする

主催: 松戸市環境計画課減 CO2 担当室、

アースコン・マツド

3. 親子が水辺で集う日

開催日:6月27日(土)

会場:北千葉導水路管理センター

内容:河川水質事業の一環として実施

主催:松戸市河川清流課

会計より: 皆様の会費で会の運営をしています。21 年度年会費(個人: 1,000 円、団体 2,000 円) の振込み票を同封いたします。納入をよろしくお願いいたします。尚、すでに送金されてる場合はご 容赦ください。

古紙 100%再生紙使用

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推 進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるや かな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、 行政及び専門家とのパートナーシップによる活動 の展開を図ることを目的としたネットワークで す。

入会申込先:千葉県環境財団 環境技術部

環境活動推進チーム気付

TEL:043-246-2180 F A X 043 - 246-6969

会費納入先:環境パートナーシップちば

郵便振替口座 00160-9-401872 千葉県環境財団

環境技術部 環境活動推進チーム気付

<環境パートナーシップちば> 入会申込書

会の趣旨に賛同し(個人、団体、賛助会員として) 会費を添えて(郵便振替)入会します

氏名	入会年月日
住所	₸
TEL	FAX
年会費	個人 1,000 円 団体 2,000 円 賛助会員 5,000 円